

# TAGAMI KOUMINKAN DAYORI

地域づくり・人づくり・町づくり

豊かな自然に囲まれて

穏やかな清流「浅の川」と、緑豊かな「角間」の里山に囲まれて。

田上本町  
田上本町第2  
朝霧台  
田上町  
田上1丁目  
田上2丁目

田上新町  
田上公町  
田上さくら並木  
田上の里

太陽が丘・ひまわり

・あおぞら  
・そよかぜ  
・ゆうひみ

上若松町  
若松町  
若松町兼六台  
若松町東  
若松町第3  
若松町1丁目  
若松町2丁目

若谷町  
下中島  
もりの里さくら並木

旭町・上中下

角間新町

たがみ  
公民館だより

第114号

令和5年3月31日

編集・発行 田上公民館広報視聴覚部 <https://tagamicc.jp/>



2022年11月26日(土)に石川県立自然史資料館にて「アンモナイトそっくり模型作りと恐竜・化石のふしぎの体験教室」が開催され、小学生と小学1・2年生の保護者が参加しました。受付時に検温と消毒をし、体験教室を行う2階へ向かいながら、子どもたちは目に入る展示物に興味津々の様子です。席につくと模型作りに使うセットが用意しており、あくわくしながら眺めていると9時30分になりました。いよいよスタートです。

桂 嘉志浩(かつら よしひろ)先生(石川県立自然史資料館学芸員・古生物学者)が、恐竜の化石などの画像と

もに、お話をしてくださいました。最初はレプリカについてです。レプリカとは本物から型を取って作ったもので、レプリカだからできることは、「世界中の人に見てもらうことができる。」「研究できる。」「壊れても大丈夫。」「型があれば作り直せる。」とのこと。他にもいろいろな生物の進化や化石などについても学びました。桂先生は4年前にアメリカのモンタナ州でトリケラトプスの大きな角を発見したそうです。今日挑戦するのはアンモナイトの模型(レプリカ)ですが、アンモナイトの名前はアンモーン(神話に出てくる羊の角を持った神様)が由来だそうです。

## 「アンモナイトそっくり模型作りと恐竜・化石のふしぎの体験教室」



化石についての知識を深めたところで、アプモナイトの模型（レプリカ）の作り方を教えていただきました。「石膏はヨーグルトくらいの固さにする。時間との戦い。」「型から抜くのが難しい。」ということがわかりました。いよいよアプモナイト模型作りの体験が始まります。「石膏に水を入れる↓ダムができないようにきれいに混ぜる↓型に入れる↓軽くトフトフして空気を抜く」という工程を1分以内でできるように目指します。この時間との戦いを少し緊張しながら終えたあとは、固まるのを待ちます。その間に、恐竜や貝などの化石のお話を聞いたり、化石に直接触れたり、化石と一緒に写真を撮ったり、顕微鏡で琥珀の中の虫を見るなどの貴重な体験をさせていただきました。

さて石膏が固まったら次はいよいよ型抜きです。慎重に型を壊さないように、少しずつ抜いていきます。「抜けたー!」の声とともに弾ける笑顔。予定時刻の11時頃まで、めいっぱい楽しめました。開催にご協力いただきました皆さま、ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

二ツ寺 琴栄



## 第60回金沢市公民館大会・公民館フェア”楽集”開催

2月19日（日）金沢市文化ホールにおいて公民館フェア”楽集”が開催されました。

コロナ禍でオンライン開催されていましたが、今年は、人数制限をして行われました。

また、午後から行われた芸能フェステバルもYouTubeでLive配信映像が視聴出来ました。各公民館の作品展示も市公連のHPで見ることが出来ました。

受賞者の皆さんには後日坂根館長より表彰伝達式が行われました。





おめでとうございます。

### 市公連連合会功労者表彰

関戸 正彦様 (前公民館長)



写友会



押し絵教室



俳句教室

山河句会

四季の短冊



こども美術教室

来年の干支「うさぎ」



田上公民館

押し絵教室

山河句会



### 公民館永年勤続表彰

永年勤続 25 年 清水 紀子様

永年勤続 20 年 浦 達也様

小竹 博志様

下 豊明様

津田 正子様

永年勤続 10 年 大島 昭彦様

杉浦 寛昌様

室谷 圭亮様

柳橋 修様

受賞された皆様おめでとうございます。

今後のご活躍と公民館活動に更なる  
ご理解とご協力宜しくお願い致します。





## 城東地区二十歳のつどい

1月7日土曜日、曇天模様で雨が降りそうでしたが、何とか持ちこたえた天気の中、令和4年度城東地区公民館合同「二十歳のつどい」が開催されました。今年度より成人式から名称変更され、昨年に引き続き新型コロナウイルス対策を万全に行い、田上・杜の里地域から多数のみなさんが参加されました。

今回も会場内に入れるのは、コロナ対策の為、参加者と関係者のみとなり、ご家族は入れず残念な思いをされているようでした。入場できない分、YouTubeを使つての配信が後日行われ、玄関付近では看板の前に記念撮影されている方がたくさんみられました。

会場では、マスク姿ではありますが、皆さんの若々しい晴れ姿に、この日を迎えられたことの嬉しさが伝わってきました。

式典では、徳田副知事、村山市長から祝辞をいただき、「二十歳のつどい」代表の方々が二十歳の誓い等を行いました。

今年もマスク着用は義務として行われていたので、皆さんの本当の笑顔はみることができませんでした。今回は行動制限がないので、コロナ対策を講じながらの同級生の集まりもできたのではないのでしょうか。



### 角 楓立 (杜の里小)

私は二十歳のつどいに参加し、旧友と再会しました。昔学校で過ごした日々や、現在励んでいること、これからの未来について旧友と話し合い、懐かしさや喜びを感じました。また、かつて同じ学校に通い、様々なことを共に学んだ友達が心身ともに成長した姿を見て、自分たちが成人し、大人への仲間入りをした、とひしひしと感じることができました。

現在、新型コロナウイルスが蔓延している中で、このような式に参加することができたのは、二十歳のつどいを開催するべく尽力してくださった関係者の皆様方の努力によるものに他ならないと思います。素晴らしい式を開催してくださった関係者の皆様方に深く感謝をし、その期待を裏切らないように、責任ある行動を取りたいと感じました。

自分たちはまだ大人としては未熟ですが、VUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代の日々を創っていく若者の一人として、これからも精一杯努力し、成長していこうと思います。

### 森野 藍 (杜の里小)

20年前、私はここ金沢市で生まれました。自然に囲まれたこの土地でさまざまな発見や経験をしてここまで成長することができました。時には優しく、時には厳しく教え導いてくれた両親や先生方、色々な場面で支えてきた友人たちには感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、自分も誰かの支えになるよう日々精進してまいります。晴れて大人の仲間入りをしますが、まだまだ未熟な私たちです。どうかこれからも温かい目でご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。



### 松倉 いすみ (田上小)

2023年1月7日に二十歳のつどいがありました。大学生になり、新しく友達ができましたが、やはり地元の友達は話が合い懐かしく、改めて地元の良さを感じました。マスクをつけているせいもあり、容姿だけでは判断できなかった人も、話してみると話し方や声、性格などは変わっておらず、とても安心感がありました。久しぶりに会う友達が多く、人間の成長が感じられる素敵な機会となりました。もう就職している友達が何人もいて、刺激を与えられ、自分ももっと頑張らねばならないと思いました。二十歳になり、社会に出ていくということで、周りの大人から沢山のことを学び、吸収しこれからの人生につなげていきたいです。

### 鳴瀬 歩 (田上小)

以前は成人式という名前で行われていたものが、成年年齢が変わったことにより二十歳のつどいという名前に変わり、名前が変わってから記念すべき一回目に参加することができました。懐かしい小学校の仲間と話したり、写真を撮ったり、とても幸せな時間を過ごしました。二十歳ということで、これからは責任なども伴う、大人になっていきます。お手本となるような人間になれるように精進していきたいと思います。また、式を開くにあたって動いてくれた方に感謝し、そして何よりここまで育ててくれた親や環境に感謝し、これからの人生をより良いものにしていきたいと思います。

### 堀江 昌司 (田上小)

二十歳のつどいを迎えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

なつかしい顔ぶれを見ながらそれぞれの成長を感じることが出来ました。この日を迎えることができたのは、自分たちだけの力ではなく、まわりの人たちの支えがあったからと強く感じました。20歳を迎え、様々な制限がなくなり、自分の意志で物事を決める事が出来る自由がある一方で、物事の責任もすべて親ではなく自分にのしかかります。

これから経験する多くの出来事に対して、正しい判断ができるよう、自分を磨いていきたいと思います。いままで自分を支えてくださったまわりの方々に少しでも恩を返せるようしっかりと成長していきます。



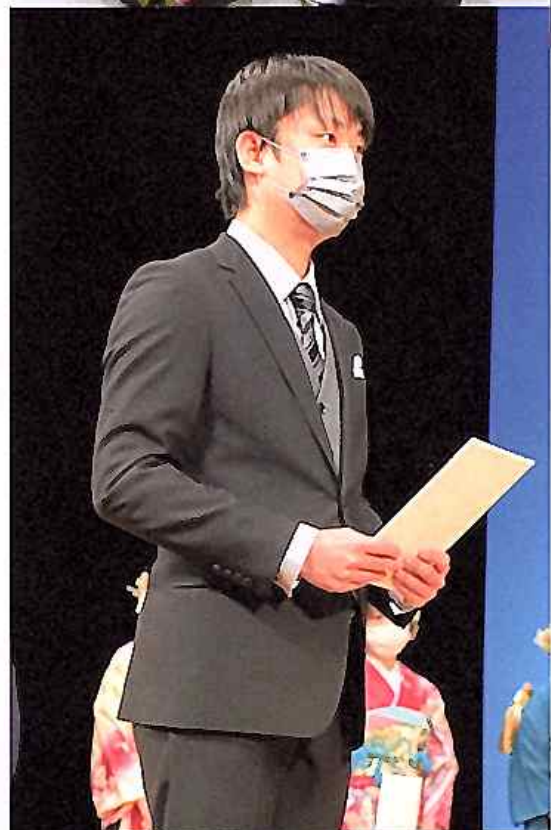


# 3年ぶりに ふれあい文化祭が 開催されました。

今年度二十歳を迎えられたみなさん本当におめでとうございます！今回から成年年齢が十八歳になったこともあり、『成人式』という名称ではなくなりましたが、節目の年齢を迎えたことには変わりはありません。行動制限がない中の二十歳のつどいでしたが、コロナ禍前の状態にはまだまだならない状況です。その中でもこれからの自分の将来像を思い描き、明るい未来に向かって邁進し、これからの人生を歩んでいただけたらと思います。みなさんのご活躍とご健勝をお祈りし、将来の金沢市、石川県を盛り上げていただけると幸いです。

来年こそは、新型コロナウイルスが落ち着き、少しでも通常に近い状態で二十歳のつどいが行われることを祈ります。

松原 正恵



# 田上公民館ふれあい文化祭



金沢市立第六中学校

美術部

新世界

前に進み、明日を切り開いて行こうとの思いを込めて制作されています。未来に向かって夢を描き、将来に向かって羽ばたこうとしている少女を静かな色彩で描いています。

10月23日(日)に田上公民館ふれあい文化祭が田上小学校体育館にて開催されました。コロナ禍により一昨年と昨年はオンライン作品展のみでしたが、今年は演目発表会も行われ、3年ぶりの賑やかな文化祭となりました。当日のスケジュールは8時45分開場、9時10分開演、12時30分閉会で、受付時には検温、消毒をし、お楽しみ抽選会の抽選券を配布しました。開会あいさつでは、坂根公民館長から「3年ぶりに地域の文化的な発表のある文化祭が開催できてとても嬉しい」、田上校下町会連合会の上田会長からも「3年ぶりのリアルタイムの文化祭が開催できてとても嬉しい。人生の貴重な1ページにしたい」、また、田上小の押野校長先生からは「たくさんの方のみなさんのふれあいがあったらいいなあ、みんなで楽しく過ごせたらいいなあと思う。」とお話をそれぞれいただきました。舞台の中央には兼六中学校美術部のみなさんが「前に進み、明日を切り開いて行こう」との思いを込めて制作した絵画「新世界」が飾られ、華を添えていました。

演目のトップバッターは田上本町たいこ倶楽部のみなさんの「ふれあい太鼓演舞」です。久しぶりの発表にどきどきしていたそうですが、堂々とオープニングを飾ってくださいました。3曲目の「かみなりさん」は雨を呼ぶ太鼓だそうです。

2番目はコーラス杜の里のみなさんによる合唱です。「秋のメドレー」や「芭蕉布」のしっとりとした歌声に会場中が魅了されました。

3番目は浜田音楽教室のみなさんによるピアノ演奏です。クラシックの曲やデイズニー、ジブリの曲に聴き入り、最後は連弾「Only a (オニヴァ)」で、手拍子が起こったの大盛り上がりでした。

4番目は田上大正琴同好会・こども教室のみなさんによる演奏です。「田上小学校校歌」の演奏時には客席で校歌を口ずさむ皆さんもいらっしやいました。他、「宇宙戦艦ヤマト」「思い出のアルバム」「はぐれこきりこ〜こきりこ節」を演奏いただき、大正琴の音色に聴き入りました。





## 編集後記

昨年、ロシアによるウクライナ侵襲で、日本経済もエネルギー価格の高騰など世界的なインフレなど多大な影響が出ています。さらに、新型コロナウイルスの発生3年余りが経ちました。政府は、新型コロナウイルスの感染法上の分類を5月8日から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると決めました。感染者の外出自粛や医療費の負担、マスク着用、医療機関への受診など、これまでと対策が大きく変わりそうです。

今年度、公民館だより113号が公民館報奨励賞を頂くことが出来ました。これからも広報視聴覚委員一同地域の皆様に分かりやすい情報発信を心がけてまいります。

Vol. 114

発行日/令和5年3月31日  
発行人/広報視聴覚部

|       |        |
|-------|--------|
| 部長    | 三浦 清宏  |
| 副部長   | 松原 正恵  |
|       | 二ツ寺 琴栄 |
| 委員    | 谷内美恵子  |
|       | 荒木 拓   |
|       | 林 利紀   |
|       | 関根 明雄  |
|       | 土本 邦博  |
|       | 針原 奈実  |
|       | 木村留美子  |
| 特別編集員 | 彦坂 哲郎  |

ご意見・ご感想・ご希望を  
お聞かせください。

下記FAXまでお寄せください。

Kanazawa Tagami Community Center  
〒920-1156 金沢市田上の里2丁目3番地

TEL

076-261-1331

FAX

076-261-1516

<https://tagamicc.jp/>

5番目は田上本町虫送り太鼓保存会のみなさんによる「虫送り太鼓」「朝霧五色」「加賀田上」の演奏です。虫送りとは、イナゴから稲を守ることで、五穀豊穡を願う太鼓だそうです。伝統行事を今に伝える迫力の太鼓が鳴り響きました。

6番目は杜の里ANGELSによるチアリーディング「チア☆スマイル」です。アクロバティックな技がノリの良い曲で次々と繰り広げられ、元気いっぱい、笑顔いっぱいの演技に会場の誰しもが釘付けとなりました。

7番目は兼六中学校吹奏楽部による演奏です。55名（1年生と2年生）のみなさんにより、「シャックルフォードバンクス」「アラジンメドレー」と続き、3曲目の「テキキラ」では色とりどりのポンチョ姿に変身。リズムカルな演奏に合わせた振り付けに魅了され、自然に手拍子が起こり、会場が一体となって楽しみました。

そして、ファイナレを飾るのは、金沢市第一消防団田上分団による「加賀鳶はしご登り」です。大名火消しと言えば加賀鳶を指し、歌舞伎の演目にもあるそうです。梯子は6mもあり、間近で見るとは大迫力です。技が決まると威勢の良い「ヤー！ヤー！」とともに拍手が起こり、息を呑む演技が続きます。ところが演技が終盤に差し掛かったところ、外からサイレンの音が鳴り響きました。出動の合図です。サイレンが鳴り響く中、無事に演技を終え、急いで現場に向かわれました。

演目の後はお楽しみ抽選会です。坂根館長が抽選箱から抽選券を取り出す度に、抽選に当たるかどうかのスリルを楽しみました。

閉会のあいさつは、福田実行委員長から、お集まりいただいたみなさま、出演いただいたみなさまへの感謝をお伝えし、閉会となりました。また、オンライン作品展に参加くださったみなさまも、四季折々の写真、たくさんの絵画、手芸作品の数々等をお寄せくださりありがとうございました。次回のふれあい文化祭にもたくさんの方々のご参加、ご来場を心待ちにしております。

二ツ寺 琴栄